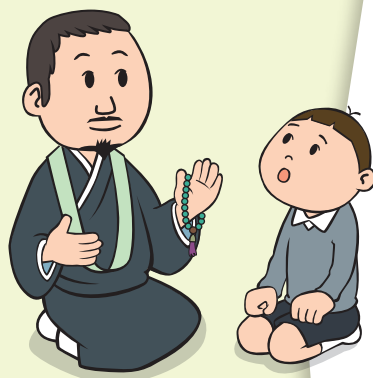


じいじいちゃんはどいっした？

高田教区 金子 光洋



何年前におじいちゃんが亡くなった時、子どもがこんなこと言ってる。

「お父さん。じいじいちゃんは死んだらどいっしたの？」

「じいじいちゃんはお浄土へいったんやわ」

「お浄土ってなん？」

「どいっやろな……」

人が亡くなったらどこにいくのかな？どこにいくと思う？うちの子は気になって仕方なかったみたい。その時の不安そうな顔見てたら、どうやらじいじいちゃんのことだけと違って、自分が死んだらどうなるのかわからないことも気になったと思うねん。

みんなは学校行ったり友達と遊んでたら、あれやりたい！こうなりたいたい！って思うことがあるやろ。ワクワクするよきな気持ち出てきたら楽しい

な。でも、それができなくなったりすると、悲しくなったり寂しくなったりするんちがう？そうならどうしよう。

この前こんなことがあってん。近所のショッピングセンターに買い物に行った時、急に子どもがパツと手を離してどこかに走って行ってん。案の定、迷子になって泣きながら僕のことを探してた。みんなは迷子になったらどうする？誰かに教えてもらったわけではないけど、親とか一緒に行った人を探そうになつてんねん。迷子になった時、親とか一緒に行った人のことを呼びし、反対に子どもがどこに行つたんやろうと思つて、その子どもの名前を呼びながら探すよな。でも困つたことに、会えたら安心してまたどこかに走って行ってしまつてねん。

そんなことがあって、僕も子ども頃、迷子になって泣きながら親のこと探してたなっていうことを思い出してん。僕は今年で41歳になるねん。見た目はだいぶんおっさんになつて、大人になつたつもりでいるけど、不安や心配事はいっぱいあるや。

子どもたちと聞く法話

友達とか家族とか世の中の事とかどうしていいかわからん不安。その不安は、僕が安心できる処を探してらんやでっていう事も一緒に教えてくれるねん。迷つて不安になつた時は友達とかには見せへんけど、心の中ではいつも泣いてるねん。もうおっさんになつたから、泣きながら大声出して親を探す事はないけど、本当の親を探してるんかもしれへん。子どもみたいに迷つても安心して帰る処があつたら、またそこから新しく出発できるねん。行き先のわからん迷子も大変やけど、帰る処がわからん迷子はもっと大変やで。

人が死んだら、私が死んだらどこにいくんか、どうなるんか。迷子の事を言つたけど、それは自分が安心して帰る処がわからんから、亡くなつていった人の事をそう見てしまうのかも。自分より先に亡くなった人が迷子になつてるんじゃないかって、自分が迷子になつてるでっていう事を教えてくれてるんちがうかな。迷子になつてるでって教えてくれるはたらきを「あみださん」っていうねん。安心して帰る処へ呼び返してくれるのも「あみださん」。子どもの言葉を借りたら「じいじいちゃんは死んだらどこにいくの」っていう迷子の呼びかけに、じいじいちゃんを通して「ちゃんと帰る処があるねん

蓮ちゃん通信 その2



リーフレット「ほとけの子」

お盆 無償

無償でお使いいただけるリーフレットです。お盆のお参りや子ども会でぜひ活用ください。

※詳しくは、各教務所にお問合せください。



で「って親みたいに心配して応えてくれる、あみださんの呼びかけを聞く事が大事なんちがうかな。さつき僕は、自分の事を見た目はだいぶんおっさんになつて大人になつたつもりでいるって言つたけど、どんなにおっさんになつても、おじいちゃんになつても、迷子になつたらだの子もっていうことやねん。あみださんの呼びかけを聞くってことは、年とか関係なくって、もつといえど何が違つても一人ひとりがあみださんの子どもなんやっていうことやで。ちゃんと帰る処があるっていうことやで。

そんなことをじいじいちゃんが亡くなつて教えてくれました。